

環境保全委員会

| | |
|-----|-----------------|
| 委員長 | 亀岡 弘昭 (高野山) |
| 委員 | 山本 正明 (羽曳野) |
| 委員 | 湯川 英男 (松原) |
| 委員 | 小門 蔦子 (和歌山アゼリア) |

2007-08 年度活動計画 (案)

(基本方針)

地球温暖化について、新聞・テレビなどで、何らかのかたちで報じられない日は少ないという現今です。

その対策については、国家間、国、地方、民間団体などで検討されていますが、経済活動上の問題などで、地球・人類・他の生物などの存亡にかかわる「脅威」であることとは認識しながら、必ずしも、うまく進展していないと聞かされています。個人においては私たちの生活、未来と直結した重大な問題との認識と取り組みに、未だ大きな温度差があるとも思えます。

そこで、本委員会の2007-08年度の活動計画(案)は(財)和歌山県緑化推進会・地区社会奉仕委員会との協働により、2003-04年度から始めた高野町の内子谷(有田川源流部)の国有地3.1haを借りての「ロータリー100年の森林」事業も受けて、次の通りに致しました。

なお、「ロータリー100年の森林」に植樹してもらった8樹種・2,424本について、2007年2月に、それらの活着状況を調べてもらった結果、23本が枯死していましたので、2007年4月中に捕植する準備をしてもらっているところです。

(活動計画)

1. 引き続き「ロータリー100年の森林」の造林を(財)和歌山県緑化推進会と協働して推進する。
2. 3月21日もしくは20日の「春分の日」・自然をたたえ、生物をいつくしむ、から5月4日の「みどりの日」・自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ、の期間を、「ロータリー100年の森林」を訪ねる期間とする。
3. 2の期間中に、各ロータリアンは自宅、事業所、所有地などに1本以上の植樹をされることを、お勧めする。
4. 年度中を通じて二酸化炭素排出の多い燃料によるエネルギーの節約に努め、バイオ・風・太陽光などのエネルギーを日常生活に取り入れる学習を行い可能なことから実行されることを、お勧めする。
5. 12月中旬から1月中旬に、環境保全活動についての各クラブの7月から12月までの取り組みと、1月から6月の活動予定についてのアンケートを、頂き、整理して、貴重な資料として各クラブに配布させていただきます。
6. その他、各クラブの地域やロータリアンの身近で、実行可能な環境保全地球温暖化防止にアタックしましょう。